

2025 年度 第8回 甲南中高 リサーチフェア

— 新しいものさしで考える —

2025年12月16日(火) 8:40~12:30



リサーチフェアの目的

1. 高校一・二年生が取り組んできた課題研究の成果を公開し、共有する。
2. 発表を通じて、生徒が研究の進め方および効果的な発表方法を習得する。
3. 身近な社会問題について考察を深める機会とする。
4. SDGs(持続可能な開発目標)への理解を促進する。
5. 生徒・保護者・大学教授・教員が共に学び合う「学びの共同体」を形成する。

プログラム内容

プログラム名(テーマ)		会場	時間
①	開会式	大教室	8:40 ~ 8:50
②	分科会による口頭発表(高2生徒)		
	会場① 技術・開発・経営	高 3A	9:00 ~ 10:40(1人15分)
	会場② 観光	高 3B	
	会場③ テクノロジー・環境問題	高 3C	
	会場④ ジェンダー・弱者支援	高 2A	
	会場⑤ 移民・地域問題	高 2B	
	会場⑥ 経営・投資	高 2C	
③	ポスターセッション(高1生徒)	大教室 視聴覚教室 大会議室	10:50 ~ 11:50 (偶数→奇数→全員→偶数→奇数→全員)
④	閉会式	大教室	12:00 ~ 12:30

高二分科会詳細

会場① 技術・開発・経営 高3A組(南館1階)		法学部法学科 濱谷 和生 教授
第1発表	日本のDX化における問題点	
第2発表	揺らぐ土地、揺らぐ暮らし	
第3発表	コロナが航空業界に与えた影響と未来への教訓	
第4発表	交通過疎地でライドシェアを普及させるには	
第5発表	日本の税制度と格差問題	
第6発表	人工島の再開発について	

会場② 観光 高3B 組（南館1階）		文学部 日本語日本文学科 佐伯 暁子 教授
第1発表	奈良県吉野町の観光客増加	
第2発表	外国人観光客の訪日中の観光地の一極集中化の対応策	
第3発表	「マナー違反」か「文化の違い」かーアニメ聖地巡礼における行動	
第4発表	民泊事業におけるゼノフォビア嫌われない民泊を創る	
第5発表	文化財にバリアフリーを	

会場③ テクノロジー・環境問題 高3C 組（南館1階）		フロンティアサイエンス学部 長濱 宏治 教授
第1発表	青色街灯の犯罪抑止効果とこれからの防犯対策	
第2発表	世界のゴミ問題	
第3発表	半導体会社のSDGs 取り組みと有給取得のあり方	
第4発表	人エエンジンサウンドの目的と文化の違いー日本とニュージーランド	
第5発表	EVの普及に向けた課題と展望	

会場④ ジェンダー・弱者支援 高2A 組（南館2階）		全学共通教育センター 岡村 こず恵 特任准教授
第1発表	ボランティア活動がもたらす平和のかたち	
第2発表	日本の外国にルーツを持つ児童の学習問題	
第3発表	被災地支援とボランティア	
第4発表	子ども食堂の運営を安定させるために	
第5発表	男子校における女性教師の存在意義ー日本とニュージーランドの比較	
第6発表	ノルウェーと日本のジェンダーと国防意識について（オンライン）	

会場⑤ 移民・地域問題 高2B 組（南館2階）		全学共通教育センター 高砂 孝緒 講師
第1発表	カナダの移民政策を受けて今後の日本の移民政策への対策とあり方	
第2発表	移民を人間としての権利を保障された“社会の一員”として受け入れるためには何が必要か	
第3発表	公立中学校における運動部活動の地域移行で生じる教員への諸問題	
第4発表	東灘区における高齢化は経済成長にどのように影響を与えるか？	
第5発表	移民との共存社会について	

会場⑥ 経営・投資 高2C 組（南館2階）		経済学部経済学科 寺尾 建 教授
第1発表	“ととのい”がもたらす新しいサウナ経営モデル	
第2発表	AI投資が企業に及ぼす影響	
第3発表	経営者の息子に生じる課題と支援の在り方	
第4発表	ESG投資の社会問題	
第5発表	日本の黒字企業の廃業を防ぐには	
第6発表	人手不足時代を生き抜くホテル産業のあり方	

高校一年 A 組 ポスタープレゼンテーション

ポスタータイトル
復興後の都市に人が集まらない
津波の脅威と非難に対する意識
防災バックの普及と最適化
阪神淡路大震災における被害を受けた地域の再開発について
震災の記憶を風化させないために、次の世代によりよく繋いでいく取り組みを考える
災害による災害関連死を減らすためにはどのような対策を講じるべきか？—避難所の環境
自然災害による人口減少を食い止めるための地震保険の可能性
避難所のクオリティー上昇
同じ震度でも、地域ごとに避難行動に差が出るのはなぜか
震災後の空き地・空き家再生と労働市場の回復—失業率を抑える仕組み作り
AI やドローンは災害救助にどんな可能性を持っているか
災害時の SNS のフェイクニュースにだまされないためには
災害関連死を減らすことのできる避難所を作るには
地震後の地域経済の復興と、被害を未然に防ぐための課題
日本在住の外国人が被災時に抱える問題について
阪神間の土砂災害
既存住宅を耐震性住宅に変えるには
南海トラフ地震発生時の海沿いの地域の液状化現象による二次被害を防ぐには
SNS は災害時、本当に役に立っているのか
災害ボランティアの数と支援の偏りから考える社会的課題
災害時、外国人とのすれ違いをなくすためには
学校での防災訓練は災害時の行動にどれくらい影響を与えるか
災害時に在日外国人が速やかに避難できるような取り組みを考える
震災時、障害者や高齢者の要配慮者への支援について
避難所としての学校の再設計—被災者が人間らしく生活できる空間を目指して
津波の被害に対する疑問と解決策
震災時における正確な情報伝達—正確かつ多様な情報伝達手段の確立をめざして
震災時における高齢者と障害者の理想のバリアフリー問題
なぜ震災後の人間関係が助け合いから、対立に変化したのか。
社会的弱者の確実な避難行動の為に
都市部のライフラインの復旧
学生ボランティアの必要性